

東京電力(株)福島第二原子力発電所2号機の手動停止についてのからの報告について

平成14年9月3日
原子力安全・保安院

東京電力(株)福島第二原子力発電所2号機(沸騰水型、定格出力110万キロワット)は、定格出力運転中のところ、平成14年9月2日19時44分、湿分分離器^(注1)(B)区域の「ダスト放射線モニタ異常」の警報が発生し、その後、当該ダスト放射線モニタ及び排気筒放射線モニタの指示値にも上昇が認められた。

このため、原子炉を手動停止して原因の調査を行うこととし、9月2日20:10に原子炉停止を決定し、同日20:30から原子炉停止操作を開始したとの報告が、9月2日に東京電力(株)からあった。

また、9月2日17時49分に「排ガス減衰管^(注2)入口放射能高」の警報が発生し、排ガス放射線モニタの指示値が上昇したことから、燃料からの微少漏えいの事象も発生していることが考えられる旨併せて報告があった。

なお、外部への放射能の影響はない。

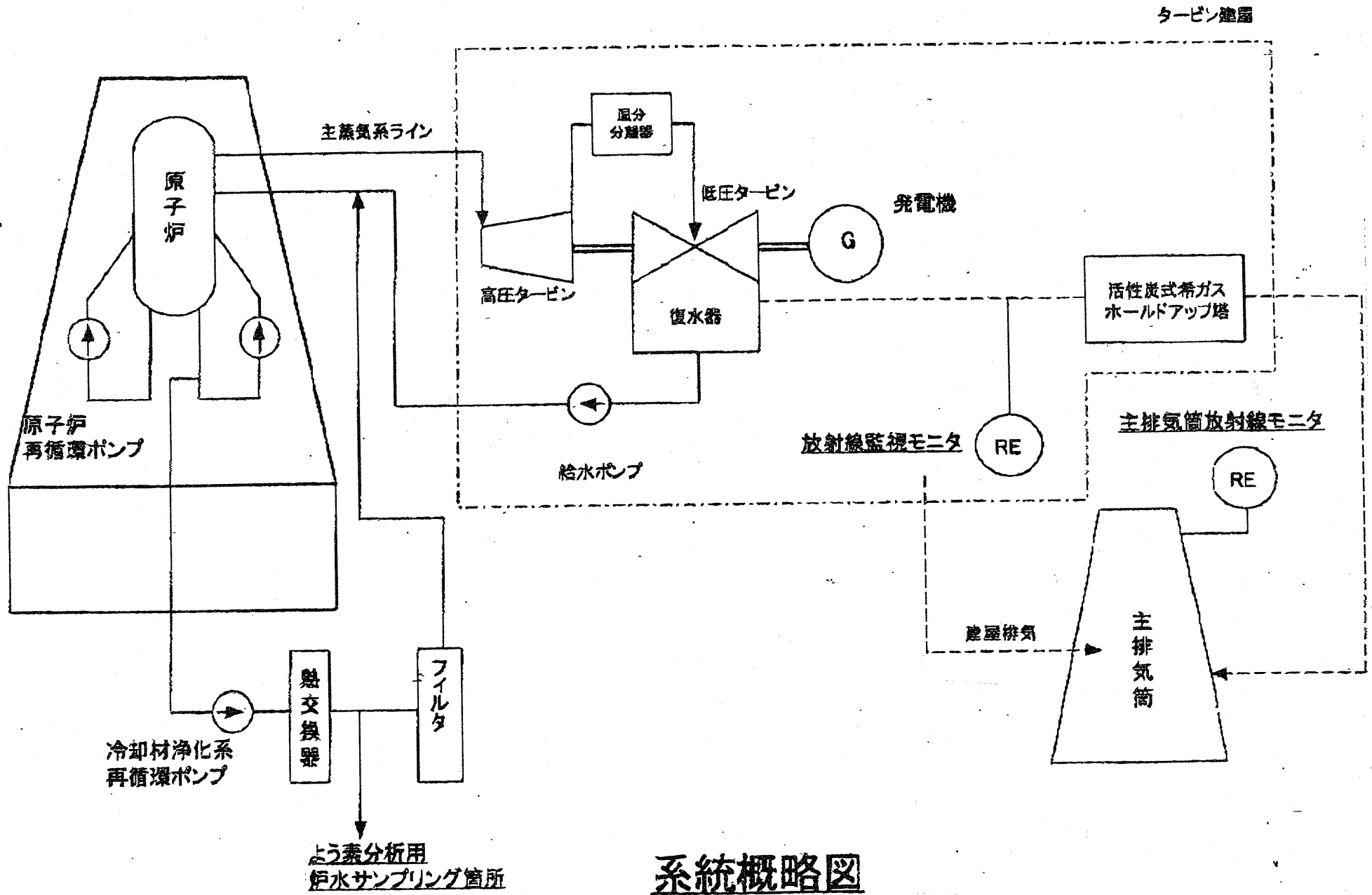
(注1) 湿分分離器とは、高圧タービンで仕事を終えた蒸気の湿分を除去してから低圧タービンに導くための装置である。

(注2) 排ガス減衰管とは、復水器からの排ガス中の短半減期の放射性物質を減衰させる目的で設置されている装置である。

(I N E S による暫定評価)

基準1	基準2	基準3	評価レベル
-	-	0 -	0 -

問合せ先：原子力防災課原子力事故故障対策室
内線4911 直通3501-1637



系統概略図